

令和7年度 第3回彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会

日時：令和8年2月27日(金)15:30～16:45

場所：彦根市役所5階 会議室5-1

1 開会挨拶

時間縮減のため省略

2 報告事項 (20 分間)

① 今年度の事業総括等

実証事業について

稲枝中学校区地域運動部活動、水泳、剣道、陸上競技、軟式野球 ※別添資料参照

- ・稲枝中学校の地域運動部活動は次年度も継続予定だが、市全体で休日の学校部活動を廃止する予定の令和9年度には、市の取組に合流したり、個別に地域クラブ化したりする方向で検討。
- ・水泳連盟による地域水泳クラブは、次年度受益者負担のみで実施するには月5000円の受益者負担と、最低10名の参加者が必要。
- ・どのクラブもコーディネーターの負担が大きいことから、今後は認定地域クラブのサポート体制を作っていく必要がある。

国や県、近隣市町の動き

- ・国は地域展開を加速化していく方針であるが、滋賀県は地域連携を中心に改革を進める方針。県内ではそれぞれ地域クラブの受け皿を確保しつつ、徐々に地域展開していく方針の市町が多い。

教職員、児童生徒、保護者向け調査結果について

※別添資料参照

②次年度予算と取組方針について

次年度の取組および予算について

- ・次年度は国の補助金を活用しながら、総括コーディネーター業務および認定地域クラブ活動の運営業務をスポーツ協会に委託する方針。
- ・西中学校男子バレー部は、次年度地域展開予定であったが、中体連への地域クラブ登録規定が緩和されず、県やブロック大会への参加の形が整わないことから、暫定的に拠点校部活動として、市内全域から部員を募集する。

3 協議事項 (45 分間)

彦根市立中学校部活動地域展開等推進計画(案)について

①計画の目標と基本方針について

- ・「子どもたちが希望する活動を柔軟に選択できる環境を整備します」の柔軟の意味は。複数の種目を週替わりで体験したいような希望を叶えることも含まれているのか。→将来的にはそういった希望があれば保障したいが、たちまちには難しいと考えている。
- ・「指導を望む教員の支援と兼職兼業制度の整備」とあるが、教員が指導する前提になってはいないか。教職員の働き方改革はどうなったのか。支援とは具体的にどんなことか。

→指導者に表現を訂正する。指導者への支援としては、指導に専念できるように徴収金の管理を始めとする運営事務のサポートをしていけるようにしたいと考えている。(運営団体によるサポート、アプリの導入、保護者サポーターの活用等)

②彦根市認定地域クラブの認定要件について

・「学校等との連携が適切に行われていること」について、複数の学校から参加している地域クラブが学校と連携をとることは地域クラブの大きな負担になるのでは。また、学校にとっても負担になるのでは。

→認定を受けない地域クラブとの線引きとして、学校との連携は必要であると考えているが、可能な連携の在り方について検討が必要。

③指導者に関する記載について

・1行目の「学校部活動における部活動指導員」に関する記載は必要ないのでは。

→部活動地域展開等推進計画としては、平日の学校部活動をしばらく維持するとしている以上は必要と考えている。

④全体に関わって

・今後の市の中学生のスポーツ・文化芸術活動の在り方を描く大切な計画であることから、市として未来の中学生がどういう姿になってほしいのか、願いを込めたものになるように表現を考えていきたい。

・中学校期だけでなく、小学校期や高校期、生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しめるよう、より大きなスキームで考えていきたい。

4 事務連絡

① 令和8年度 彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会スケジュールについて
開催予定 (5月上旬、10月中旬、2月下旬)

・認定地域クラブ活動体制が上半期に整えられるよう、例年よりも早くにスタートを切りたい。

5 閉会挨拶 (会長)